



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年1月30日

上場会社名 セブン工業株式会社
 コード番号 7896 U R L <https://www.seven-gr.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 木下 浩一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 田口 浩司 T E L 0574-28-7800
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円 11,886	% 1.3	百万円 25	% △87.0	百万円 25	% △87.7	百万円 △31	% —
2025年3月期第3四半期	11,734	△0.4	195	227.5	204	217.5	181	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 △7.11	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	40.71	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 11,625	百万円 6,192	% 53.3
2025年3月期	10,942	6,313	57.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 6,192百万円 2025年3月期 6,313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 20.00
2026年3月期	—	10.00	—		
2026年3月期(予想)				10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2026年3月期の業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 16,100	% 4.4	百万円 110	% △40.1	百万円 100	% △47.1	百万円 70	% △62.2	円 銭 15.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	4,673,250株	2025年3月期	4,673,250株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	209,654株	2025年3月期	209,564株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	4,463,656株	2025年3月期3Q	4,463,914株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状況の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期貸借対照表に関する注記)	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5
(セグメント情報等の注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績等の概況

当第3四半期累計期間における我が国経済は、雇用環境の改善や賃上げの進展、企業収益の底堅さを背景に、緩やかな回復基調が見られたものの、物価上昇による家計負担の増加から、個人消費の回復は引き続き力強さを欠く状況となりました。海外経済においても、米国の通商政策の動向やウクライナ・中東情勢などの地政学的リスクが依然として懸念材料となっており、世界経済の先行きは不透明な状況が続いております。

当社が属する住宅業界におきましては、資材価格の高止まりや金利上昇の影響に加え、消費マインドの慎重化を背景として、新設住宅着工戸数は低水準で推移しており、事業環境は引き続き厳しい状況にありました。

こうした環境下、当社は成長戦略として掲げる「非住宅分野への事業領域の拡大」と「省施工商品の充実化」に注力し、新たな需要創出と既存事業の付加価値向上に取り組んでまいりました。また、当事業年度のスローガン「Create New7 <2.0>」のもと、これまで進めてきた変革の取り組みを事業成長につなげるべく、提案力の強化と事業基盤の整備を継続してまいりました。

内装建材事業におきましては、販売価格の適正化や原価低減、生産性向上に継続して取り組むとともに、非住宅分野への展開を拡充すべく、店舗向け什器関連の取り組みなど新たな需要開拓を進めてまいりました。既存事業の拡充及び基盤強化においては、カウンターの生産性向上を目的としたオートランニングソーラーの新規設置や、階段事業における大手建材メーカーとの協業開始に向けた設備及び人員を含めた生産体制の整備を図り、また、営業活動においては、提案内容の高度化や顧客接点の強化による需要深耕を講じるなど受注機会の創出に努めました。一方、主軸となる戸建て住宅市況を中心に住宅関連需要は引き続き低調に推移しており、価格改定の効果についても浸透にはなお一定の時間を要していることに加え、円安を含む為替動向など外部環境の変化も事業運営に影響を及ぼすなか、設備及び人員に係る先行投資もあり、収支改善は一進一退で推移し、当第3四半期累計期間においては調整局面が続く結果となりました。

木構造事業におきましては、かねてからの一連の大型設備投資が完工、10月より新プレカットラインの稼働を開始し、生産性向上及び増産に向けた体制整備を進めてまいりましたが、安定稼働に向けた設備調整等に想定以上の時間を要したことや、住宅市場の低迷を背景に受注環境が低調に推移したことにも加え、価格競争激化の環境下において価格転嫁が進展せず、主力のプレカット事業は極めて厳しい結果となりました。一方、非住宅分野を担う建装事業においては、公共、民間の施設案件などを中心に、大型物件を含む複数の案件を着実に手掛けてきたことから、住宅関連需要の停滞を補完する形で事業部全体を下支えする結果となり、事業ポートフォリオの変革に向けた取り組みの重要性を改めて認識する局面となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は、118億86百万円と前年同四半期と比較し1億52百万円（1.3%）の微増となりました。利益面では先に述べたとおり設備及び人員等の先行投資費用等により営業利益は25百万円と前年同四半期と比較し1億70百万円（△87.0%）の減益、経常利益は25百万円と前年同四半期と比較し1億79百万円（△87.7%）の減益、四半期純損失は31百万円（前年同四半期は四半期純利益1億81百万円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期会計期間末における総資産につきましては、116億25百万円、純資産は61億92百万円、自己資本比率は53.3%となりました。

資産につきましては、主に売上債権及び設備投資による固定資産の増加により116億25百万円と前事業年度末と比べ6億82百万円（6.2%）の増加となりました。

負債につきましては、主に仕入債務、設備投資による債務の増加及び長期借入金の増加により54億33百万円と前事業年度末と比べ8億4百万円（17.4%）の増加となりました。

純資産につきましては、主に四半期純損失の計上、期末配当及び中間配当の実施により61億92百万円と前事業年度末と比べ1億21百万円（△1.9%）の減少となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の業績予想につきましては、収支改善の施策や今期実施した設備投資の効果が顕在化していくと思われ、2025年4月30日に公表しました予想から変更はありません。なお、今後業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	1,197	967
受取手形、売掛金及び契約資産	3,021	3,087
电子記録債権	1,029	1,220
商品及び製品	220	273
仕掛品	397	470
原材料及び貯蔵品	741	768
その他	178	144
貸倒引当金	△5	△5
流动資産合計	6,782	6,927
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	532	565
土地	2,659	2,659
その他（純額）	656	1,060
有形固定資産合計	3,848	4,285
無形固定資産	60	95
投資その他の資産		
前払年金費用	140	196
その他	110	120
投資その他の資産合計	251	316
固定資産合計	4,159	4,698
資産合計	10,942	11,625
負債の部		
流动負債		
支払手形及び買掛金	1,075	1,194
电子記録債務	863	982
1年内返済予定の長期借入金	365	390
未払法人税等	41	13
賞与引当金	160	80
その他	509	944
流动負債合計	3,016	3,604
固定負債		
长期借入金	1,345	1,491
役員退職慰労引当金	70	76
資産除去債務	3	3
その他	193	257
固定負債合計	1,612	1,829
負債合計	4,628	5,433
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,675	2,675
利益剰余金	1,408	1,287
自己株式	△244	△244
株主資本合計	6,312	6,191
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1	0
評価・換算差額等合計	1	0
純資産合計	6,313	6,192
負債純資産合計	10,942	11,625

(2) 四半期損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	11,734	11,886
売上原価	9,954	10,236
売上総利益	1,780	1,650
販売費及び一般管理費	1,584	1,624
営業利益	195	25
営業外収益		
受取配当金	8	7
受取手数料	1	1
スクラップ売却益	0	0
資材売却益	0	0
その他	4	2
営業外収益合計	15	12
営業外費用		
支払利息	6	10
その他	0	2
営業外費用合計	7	13
経常利益	204	25
特別損失		
固定資産廃棄売却損	0	27
特別損失合計	0	27
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	204	△2
法人税、住民税及び事業税	11	11
法人税等調整額	11	17
法人税等合計	22	28
四半期純利益又は四半期純損失（△）	181	△31

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期貸借対照表に関する注記)

※ 四半期会計期間末日満期手形、電子記録債権及び電子記録債務

四半期会計期間末日満期手形、電子記録債権及び電子記録債務の会計処理については、手形交換日等をもって決済処理をしております。

なお、当四半期会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期会計期間末日満期手形、電子記録債権及び電子記録債務が、四半期会計期間末日残高に含まれております。

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
受取手形	一千万円	14百万円
電子記録債権	—	73
支払手形	—	28
電子記録債務	—	107
流動負債のその他（設備関係支払手形）	—	2

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	95百万円	153百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	内装 建材事業	木構造事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,302	5,421	11,724	10	11,734	—	11,734
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	3	5	—	5	△5	—
計	6,303	5,425	11,729	10	11,739	△5	11,734
セグメント利益	6	185	191	4	195	—	195

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は、賃貸事業であります。

2. 売上高の調整額は、セグメント間の取引消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	内装 建材事業	木構造事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,234	5,642	11,876	9	11,886	—	11,886
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3	3	—	3	△3	—
計	6,234	5,645	11,879	9	11,889	△3	11,886
セグメント利益	7	13	21	3	25	—	25

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は、賃貸事業であります。

2. 売上高の調整額は、セグメント間の取引消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。